

第 83 号 地域開発みちの会

# みちの会 だより

<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 近藤 由美子

平成27年度年間活動テーマ

## 「男女共同参画～今そして未来へ～」

第2回全体会が、6月23日東海市市民活動センターソラトで開催されました。はじめに今年度入会した、知多市の片山麻有さんによる平成26年度男女共同参画人材育成セミナーでの研究レポート「介護現場における女性の役割」についての発表が行われました。

自分たちがセミナーで過ごした日々を思い出しながら、和やかな雰囲気の中、片山さんの初々しく、若さあふれる発表を聞くことができました。(内容は、2ページに掲載)

### ■第2回 全体会(出席者:30名)

#### 各ブロック活動の現況報告

Aブロック ・テーマを「広がる格差の中の女性」とし、昨年度と同様の活動を展開する。

・ウィルあいち情報ライブラリーにて

「みちの会紹介」・「女性の貧困に関するデータ」のパネル展示。

「2014 女性の人生すごろく」掲示。今後は来場者のアンケート集計とデータ解析。

・ウィルあいちフェスタでは「県議会議員と語る会」の企画を視野に入れて思案中。

Bブロック ・男女共同参画について学習を中心とした年にする。現在までに各3町の議会を傍聴。  
6月4日美浜町、6月5日武豊町、6月23日南知多町の議会を傍聴した。

7月のブロック会では、意見交換を行う予定。

Cブロック ・「働きながら子育てしやすい社会になっているか」

病児・病後児保育について現況の調査、問題点の洗い出し、提言までを予定。

西知多総合病院、民間病院等の情報を集め、それに基づいて話し合う予定。

Dブロック ・活動方針としては勉強をする一年にする。

8月10日(月)にみちの会出身の議員を含め

Dブロック地区(18人)の女性議員を招き

「女性議員との座談会」を開催する予定。

議題 1.プロジェクト事業企画書 申請者による提案

2. 「議員と語る会」をどのようにすすめるか

3. ウィルあいちフェスタについて 〈11月21日(土)〉

4. フォーラムについて



## ～ ミニ研修会 ～

(平成 27 年度新会員・片山麻有さんによる研究レポート発表)

以下配布された資料を抜粋して掲載します。



### 「介護現場における女性の役割」

(平成 26 年度男女共同参画人材育成セミナーレポート)

「介護」と聞くと、家族がするもの、女性が担うものという固定観念のようなイメージがあるのではないだろうか。介護の実態を調べ、実際の介護経験者やケアマネージャーの協力を得て、そこから見えてくる女性の役割と現在の問題点、今後の課題について考えてみた。

介護の実態は、厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成 22 年)によると、要介護者等からみた主な介護者の続柄は、6 割以上が同居している人となっている。その主な内訳のうち、性別については、男性が 30.6%、女性が 69.4%となっている。

総務省「就業構造基本調査」(平成 24 年)では、家族の介護や看護を理由として離職・転職者数は平成 23 年 10 月から平成 24 年 9 月の 1 年間で 101,100 人であった。とりわけ女性の離職・転職者数は、全体の 80.3%をしめている。

資料での介護の実態を踏まえ、実際の現場ではどんなことが起きているのかを介護経験者や現役のケアマネージャーから介護現場の現状を聞き取り調査した。

#### 体験談から

- ①介護者からみて、ケアマネージャーやホームヘルパーが女性であることは、愚痴を聞いてもらったり、きめ細やかな配慮があり、非常に助かったという声がいずれでもあがった。
- ②要介護者からみても、介護は嫁や娘が良いという希望が強く、またケアマネージャーやホームヘルパーが女性であることも希望としてあった。
- ③ケアマネージャーからの調査では、ケアマネージャーとして、介護者を孤立させない事と精神衛生管理を行うことが大切であるとわかった。

#### 今後の課題

未だ「介護は女性の仕事」という圧力や空気は職場や地域、家族の中に根強くある。この重圧を少しでも軽減するには家族みんなで介護を分担し、男性にも参加してもらうことが必要である。「女性の活躍」が政策として叫ばれているが、政策と現状にはギャップがある。現実問題として、育児や介護の責任が女性に偏る中、女性の活躍を促すには、子育て環境の整備、介護環境の整備が急がれる。介護職の現場について考えてみると、少子高齢化の今、ますます介護職員の数は必要とされる。離職者を食い止め、職員が増えるための法整備、環境整備が求められる。

介護現場を通して「男女共同参画」を考えて、そこから学んだことは“女性だから”“男性だから”と役割を決めつけるのではなく、生涯、人が人らしく生きていくためには、一人ひとりが性差を越えて、互いに協力し合うことが重要である。家庭という一番小さな社会において、お互いが尊敬し信頼し合える関係を築きながら「男女共同参画」を日々実践することが、次世代を担う子どもたちにその後ろ姿を見せていくことになり、ひいては輝く未来の社会の在り方や未来の介護現場にとって大きな布石を打つことになると思ってしまう。

※今後も新会員による、研究レポート発表を行う予定にしています。

## Dブロック主催

## 『女性議員との座談会』 テーマ:女性が生き生きと暮らせる社会

会場:東浦町文化センター 視聴覚室 日時:8月10日(月)13:30~15:30

## 【出席者】

## 議員:13名(敬称略)

半田市:岩田玲子、加藤美幸、山本佳代子  
 大府市:小山昌子、鷹羽琴美、鷹羽登久子、久永和枝  
 阿久比町:田中千代子  
 東浦町:川澄知里、杉下久仁子、成瀬多可子、原田悦子、水野久子



## 会員:16名

半田市:青木圭子、板倉恵美、都築広子  
 大府市:山本幸子、吉見久恵  
 阿久比町:大村貞子、近藤由美子、山本さゆり  
 吉住まり子  
 東浦町:近藤眞理子、鈴木恵子、竹川美恵子  
 戸田幸子、外山淳恵、長坂典子、山崎宏子



記者:中日新聞 石井宏昌

連日猛暑日を記録する暑さの中、Dブロック初の「女性議員との座談会」が始まりました。開始前から議員さん同士や会員と名刺交換する様子が見られました。

4月の統一地方選挙で、私たち4市町いずれも、これまでになく多くの女性たちが当選しました。みちの会会員もこの4市町で2人当選しました。阿久比町は、全国で、女性議員がひとりもない3町のひとつから汚名返上?し、女性が2人当選しました。東浦町は、16人中7人が女性、大府市は19人中6人、半田市は22人(現在21人)中3人が女性となり、どの市町も女性の割合が一気に増えました。地域にどんな風が吹いているのか、活動の追い風にならないか、今こそお話を聞くチャンスだと座談会を呼びかけました。そして18人中13人の議員の方が参加して下さいました。国の女性の活用・活躍推進の政策が地方にも届いたのでしょくか?

まず、議員になろうと思ったきっかけ、議員になる前の地域との関わり、議員になって一番やりたいことなどを盛り込んで、自己紹介して頂きました。女性の発言の場がない、一般市民が議会で当たり前にももの言えるように、届かぬ声を政策化できたらいいと、それぞれに熱い想いを語られました。



次に、「女性が生き生きと暮らせる社会」をテーマに意見交換しました。女性が社会進出するには、子育てや介護などとの両立が難しいがゆえに、家族を含めた周囲からの理解を得ることが大切だと話されました。子育て支援制度など市町によつての違いも浮き彫りになりました。議員の産休制度や、夜の会議が多いことや、子育て支援について質問した男性に子どもを持ってから言えのヤジがあったなど、日頃なかなか聞けない本音も聞けました。

この座談会は、中日新聞(8/13)に掲載されました。数日後、議員さんから、座談会で紹介された男女共同参画啓発DVD「これからの男の生き方!イクメン・カジダン・共同メン」を担当課で借りて見ました。分かりやすかったですと、嬉しい声をかけて頂きました。座談会でできたつながりを今後とも大切にしていきたいと思ひます。(山本幸子)

プロジェクト企画がはじまっています！！

### 「まちのこと学び隊」

- ・7月10日に半田市役所にて出前講座『ようこそ市議会へ』を13名受講。
- ・9月以降、各市町の議会を傍聴し、レポートを作成する取り組みを実施。



#### 参加者の感想・・・

市議会の議員といえば、地元の行事に来賓で来る姿しか知らず、「本業」をよく知りませんでした。本議会、委員会、会派など、聞いたことはありましたが詳しい内容を知らなかったもので、今回参加してとても勉強になりました。ここでの学びを活かすためにも、まずは9月の市議会へ傍聴に行こうと思います。

### 「学習会」(東海市市民活動センター(ソラト)小会議室にて)

- ・7月14日に①学習会の進め方 ②どの本を読むか ③日程 など話し合い。
- ・8月20日、東海市ソラトにて「グローバル社会におけるコミュニティと女性の役割(浜矩子著)」について参加者で意見交換会を行った。
- ・次回は、10月16日(金)10:00～12:00「ソラト印刷室前のリザーブ席」にて開催。  
「何を怖れる フェミニズムを生きた女たち」「女性はなぜ活躍できないのか」を活用。



### 『女性の貧困』パネル展示およびアンケート調査

ウィルあいちで、パネル展示を5月12日から6月16日まで実施。来場者にアンケートを記入してもらい、今後は、アンケートの集計と解析を行う予定。  
パネルは、貸し出し可能です。気軽に申し出てください。



### 「日本女性会議 2015 倉敷に参加」

10月9日から10月11日に開催され、7名の会員が参加を予定しています。

#### 倉敷大会テーマ

「思いやり 男女(ひと)が集う 白壁のまち」  
～ライフステージとそれぞれの男女共同参画～

#### 日本女性会議とは・・・

昭和50年の「国際婦人年」とそれに続く「国連婦人の10年」を記念して、昭和59年からスタートし、地域が抱える様々な課題に対し、男女共同参画を切り口として解決することを目的に、毎年開催されています。

## これからの行事のお知らせ

■議員と語る会	10/22(木)	場所:エスペランス丸山(阿久比町) 時間:13:30～16:00
■ウィルあいちフェスタ	11/21(土)	場所:ウィルあいち 3F セミナールーム6 時間:10:00～11:50 (企画担当:Aブロック)

#### —編集後記—

読書の秋。食欲の秋。スポーツの秋。芸術の秋。

季節を感じられる幸せをかみしめています。一日一日を大切に。

(83号:編集委員 石垣)

ご意見・問い合わせは メールにてお寄せください

地域開発みちの会 <http://www.aichi.michinokai.cc/toiawase.html>